



地域スポーツの普及に努める千葉正志さん。

## 千葉正志さんが功労者表彰を受賞

11月15日、16日に鹿児島県鹿児島市で開催された「第59回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島大会」で、仙北市スポーツ推進委員長、議会の千葉正志副委員長が、スポーツ推進委員として長年にわたる活動の功績が認められ、功労者表彰を受賞しました。

大分県臼杵市で開催された「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」で、大分県祭りが開催され、荒川光晴さん（角館町横町）が、「世界ハンディキャップI GO選手権」に出場し、国内第1位の栄誉に輝きました。

選手権は、11月23日から25日にかけて行われ、中国や台湾、韓国など国内外からの招待選手が頂点を目指しました。

荒川さんは「1回戦から決勝まで大局をよく読むことができて調子がよかった。来年も新潟県で開催される選手権に出場したい」と抱負を語りました。

## 世界ハンディキャップI GO選手権 国内第1位



素晴らしい成績を取った荒川光晴さん。



全員で目標カードを掲げて「SDGs未来都市宣言」。

## ESDシリーズ SDGs未来都市宣言 ミニシンポジウム

仙北市では『小さな国際文化都市』市民が創る誇りあるまちを、将来像に掲げ、平成28年3月に「第2次仙北市総合計画」を策定しています。まちづくりの基本理念「健やかに美しく輝くまち」のもと、市民と行政が協働しつつ、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでいます。

6月15日、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた優れた取組を提案した全国29自治体の1つとして、仙北市が「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs達成のための取組と「第2次仙北市総合計画」は重要なものであり、市では、持続可能な開発目標（SDGs）推進本部を設置して、取組をさらに加速化しています。

11月24日には、角館交流センターで「仙北市SDGs未来都市宣言・ミニシンポジウム」を開催しました。

当日は、西明寺小学校児童による発表や各種講演が行われたほか、定められた17の目標ごとにパネルを展示。紹介された活動内容や展示物は、いずれも個性的で多様なことから、多くの来場者から高い評価をいただきました。

最後に、仙北市はSDGs未来都市として、すべての人が尊厳をもって幸せに生きることができるとする社会の実現に向け、全市民をあげて、SDGs達成に取り組むことを誓いました。

## 第2回 仙北市イクボス共同宣言

「イクボス共同宣言」に賛同いただける企業や団体などを募集中！



11月20日に行われた「仙北市イクボス共同宣言」。写真は仙北市の管理職者、事業所から(株)安藤醸造、いとう設計(株)、(株)丸栄堂と立会人（順不同）。

【イクボスとは…】働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のこと。

【問合せ】仙北市企画政策課  
☎ 43-1112 FAX 43-1300

仙北市では平成30年3月23日に市長・副市長・市管理職および市内事業所代表・管理職による「イクボス共同宣言」を行いました。宣言後の活動の参考にするため、11月20日にイクボスセミナーを開催しました。

今回は、湯沢市にある株式会社和賀組の代表取締役 和賀幸雄氏とNPO法人ファザリング・ジャパン東北の代表理事 横田智史氏を講師に招き、様々な事例紹介を中心に、ご講演いただきました。

セミナー終了後、両講師を立会人に、市管理職4人、趣旨に賛同していただいた企業の経営者および管理職6人による「イクボス共同宣言」を実施しました。

※当日の宣言書への署名は、市管理職2人、企業の経営者および管理職3人の計5人です。



西明寺小学校の児童がロボットプログラミング学習を発表しました。



大学の先生芸人として活躍する吉本興業所属の「黒ラブ教授」。『SDGs』をわかりやすくお笑いを交えて解説しました。



会場では、17の目標ごとにパネルで活動内容を紹介しました。

【持続可能な開発目標（SDGs）】2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲット、244の指標から構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



桜の季節になると、古城山から眺める検木内川は絶景です。桜で彩られた里山づくりに期待が高まります。



参加者は願いを込めて丁寧に植樹しました。

11月25日、古城山を再び桜の山にしようとの記念植樹が行われ、市民など約20人が参加しました。これは、企業版ふるさと納税としてアステリア株式会社よりいただいた寄付を活用し、市と角館まちづくり地域運営体共同で行ったもので、昨年に続き2回目の実施となりました。植樹に先立ち、角館まちづくり地域運営体の小林郁男会長は「古城山の整備を専断的に行うNPO法人を来年度に立ち上げる予定でいる。古城山はもちろん、外ノ山や花場山も桜で彩られた里山づくりをすすめたい」とあいさつしました。参加者は、今回植樹したベニヤマザクラとカンザンの計10本の桜に、将来きれいな花を咲かせてくれることを願いながら、子どもの誕生記念や新築記念などに書かれたプレートを設置していました。

## 桜の古城山 再生を願って

# 仙北市文化祭

「第13回仙北市文化祭」が、角館・田沢湖・西木の各地区で行われ、各会場では日ごろの活動成果として絵画や書、手芸など様々な作品が展示されました。

### 【角館地区】 10月13日・14日（角館交流センター）

オープニングセレモニーでは、角館中学校オーケストラ部の演奏が披露されました。会場には、878点の個性あふれる様々な作品が会場を埋め尽くし、約500人の来場者を和ませました。芸術の秋にふさわしく、地域文化にふれながら、豊かな気持ちで過ごした2日間でした。



オープニングセレモニーでの演奏。



日ごろの練習の成果を披露。

### 【田沢湖地区】 10月27日・28日（生保内市民体育館）

会場には、田沢湖地区の芸術文化団体や個人、こども園・小学校の児童の作品など、多数展示されました。また、鈴木普通社中・島山森抱社中による呈茶のおもてなしや朝採り野菜・おやきの販売、七宝焼きサークルや生涯学習奨励員による手作り体験コーナーが行われ、大いに賑わいました。



手作り体験の様子。



色々な作品が展示されています。

### 【西木地区】 11月4日（西木温泉ふれあいプラザクリオン多目的ホール・隣接体育館）

会場には、西木地区のこども園・小中学校の児童・生徒のほか、公民館などを利用し芸術文化活動を楽しんでいる方々の作品が展示されました。

西木温泉ふれあいプラザクリオンの多目的ホールでは、日ごろ練習している踊りや唄が披露され、最後は来場者と一緒には仙北市民歌を合唱しました。

また、会場の駐車場では、焼き芋や西明寺栗、JA加工部による野菜や漬物などが販売され、晴天にも恵まれて大いに賑わいました。



多目的ホールで踊りを披露。



思いを込めて、作品作り。

## 第33回 東京かくのだて会



福引きで盛り上がる会場。

11月17日、ジェラズタウン・オーラム（東京都台東区）を会場に「第33回東京かくのだて会」が開催され、会員・来賓あわせて約60人が出席しました。

総会に引き続き行われた懇親会では、会員が互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、カラオケや福引きなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、仙北市のお菓子や漬物などの特産品が販売され、ふるさとの味を懐かしむ声が聞かれるなど大好評でした。

## 第13回 仙北市民卓球大会

11月18日、「第14回仙北市民卓球大会」が角館中学校体育館で開催され、選手たちが熱戦を繰り広げました。成績は次のとおりです。

※各種目1位・敬称略

団体戦／OLDIES

個人戦／  
 ■一般男子1部 阿部多馬（トリニティ）  
 ■同2部 木元一幸（チームばさら）  
 ■同3部 高橋義一（生保内地区）  
 ■一般女子1部 山内くるみ（ブックイン105）  
 ■同2部 坂本澄子（田沢湖スポーツクラブ）  
 ■中学校男子 田口寛也（てくてく）  
 ■同女子 斎藤心胡（斎藤理美容店）  
 ■小学校低学年 藤川煌（てくてく倶楽部）  
 ■同高学年 三河航太（てくてくエリートアカデミー）



熱戦が繰り広げられました。

11月25日、あきた芸術村で姉妹都市である長崎県大村市と、仙北市の戊辰会をはじめとする関係者との「戊辰戦争150周年記念交流会」が開催されました。

今年は、仙北市と大村市が姉妹都市提携を締結する縁となった戊辰戦争から150年の節目となっていることから、角館のために大村藩から駆けつけた少年藩士「浜田謹吾」を題材とした劇団わらび座によるミュージカル「俺（おい）はサムライ・ドラマー！～浜田謹吾ものがたり～」の公演開始日に合わせて開催されたものです。

式典には仙北市・大村市から42人が参加し交流を深め、この絆をさらに未来へつないでいくことを確認しあいました。



あいさつする大村市の吉野哲副市長（壇上）。

## 戊辰戦争150周年 記念交流会